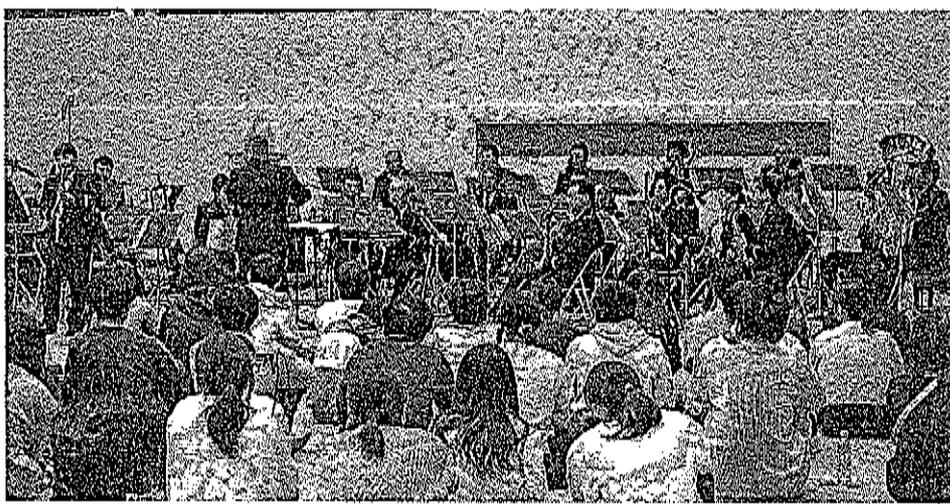


徳島大で自衛隊コンサート

1面のつづき

国立の徳島大学(徳島市)の大学祭で航空自衛隊音楽隊のコンサートが企画された問題では、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟や日本平和委員会、新日本婦人の会など、真組織が同企画に反対

する立場で大学側に対応を要請しました。地元紙の徳島新聞も「空自コンサート 問題視する声」の見出しで大きく報じました。



徳島大学「常三島祭」で航空自衛隊西部航空音楽隊の演奏を聴く学生ら=10月29日、徳島市

音楽隊の約30人が専用の大型バスとトラックの計2台で徳島大学のキャンパスに入り、体育館で10曲を演奏しました。

曲の合間には

曲の合間には進行役の隊員が「演奏を通じて航空自衛隊について知ってもらうことを大事にしている」と述べ、日本の空を守るなどと説明。体育館の後方では、陸上自衛隊の災害支援活動をパネルにして展示し、陸海空の自衛隊を紹介するパンフレットの配布も行いました。

総合科学部に政治学が専門の齋場(あいはら)和彦教授は「安全保障政策には多様な意見がある。自衛隊の存在を肯定的に宣伝する活動を受け入れる

ことば、大学が一面的な立場であるような印象が生じる」との懸念を示し、担当する国際政治学ゼミの学生たちと「自衛隊の是非を考える」と題した討論会を企画しました。

齋場教授と「九条の会 徳島」事務局長の上地大 三郎弁護士が対談する内容で、自衛隊が企画・展示を行う日に約40人が参加。「自衛隊の任務と憲法9条の関係は？」「軍事一辺倒の安全保障政策でいいのか？」などの疑問に答えました。

参加した総合科学部4年の女子学生は「軍事費を増やすなど国の政策に徳島大学が賛同していると思われることは問題だ」と思う。多くの学生が自衛隊について考える機会が必要だと感じた」と語り

自衛隊群馬地方協力本部 @gu... 8時間
【#前橋警察案内所 便り】
群馬大学 #荒牧祭 「新撰」開催中！
場所：#群馬大学 #荒牧キャンパス
日時：11月29日、26日1000~1700
自衛隊ブース出展中
装備品展示・制服戦術服の試着
25日1400~1440限定で#第12音楽隊の生演奏を実施し、大学生による色々な催しがおこなわれています



群馬大学「荒牧祭」の自衛隊ブースについて投稿した群馬地方協力本部の公式X(旧ツイッター)

りました。

県内の私立大学の学園祭では今年、自衛隊のブース出展と車両展示(徳島文理大学)、海上自衛隊音楽隊のコンサートと車両展示(四国大学)がありました。国立の専門

教育大学でも昨年の大学祭に自衛隊徳島地方協力本部が参加し、災害支援活動のパネルを展示しました。

全国に広がる

全国大学高専教職員組合によると、自衛隊が大学祭で企画・展示を行う動きは各地に広がっています。

自衛隊の公式SNSには、東京都の電気通信大学調布祭(今月下旬)で制服の試着ができるコーナーがあると投稿。同じく国立の群馬大学荒牧祭(同)では、高機動車などを展示しました。

齋場教授は「表面的ながっごよき」をアピールして自衛隊を身近に感じさせる目的があるのではないかと指摘。大学では日本政府の安全保障政策のあり方を問い、自衛隊の本質について考える教育が求められている」と述べています。

「軍拡に賛同と見られるのは問題」と学生

安保政策問う教育こそ